京城新報

●新聞料　▲一部二錢▲前一ヶ月金廿五錢●三ヶ月前金[illegible]▲六ヶ月前金[illegible]▲一ヶ年前金[illegible]
●廣告料　▲普通活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金[illegible]
●陰曆　十二月五日
發行編輯兼印刷人　山下英[illegible]
京城西部西小門外
發行所　京城新報社　電話六六三

覆面を脱げる日本

本篇は英人マッンヂー氏の所述にして「貿易」より轉載したるもの也

▲外國製煙者の非難　此の日本政府の國外に於ける競爭は外國製造業者に取りて由々しき一大事として彼等の苦痛一方ならざるは事實にして彼等は日本政府の惡戯的態度を非難しつゝあり例令ば專賣局の代理人は清國內地を旅行しつゝ宛かも日本政府の代表者なるが如く粧ふも實は一個の商人たるに過ぎざる也、滿洲にては官烟販賣者には幾多の格段なる便宜を與へらるゝに反し私立煙業者は成るべく之を防止せらる朝鮮にては日本烟草の密輸入は默許せられつゝあり清國に於て專賣局の代理人中には土人を煽動して排外感情を誘發せむと試むる者さへあり余亦久しく日本人の手に成る烟草販路擴張の廣告紙を見たり是れ固り此土地に在る一代理人の行爲にして中央政府の命令に出づるにあらざるは明なるも其言辭の陋劣にして厭ふべき吾人は之を筆にして讀者に報ずるの勇なし。

▲三井物產の廣告　唯比較的に罪なしと思はるゝ一廣告文を示さむか其劈頭先づ國を愛するの紳士は速に之を認めと題し「米國人は其の事險惡にして其有毒なる酸の如し彼等は淸國人を害し其生命を損せしめむが爲めに其の卷烟草を賣るものなる旨を英人に告げたり故に米烟を喫するは死を乞ふに等し汝等若し之を爲さば猛惡狼の如からん汝等は震死を怖れざるか」と、蓋し米烟に對し「ボイコット」を爲せよと宣するもの也、而かも其の最後に附記して曰く「汝等若し卷烟草を欲せば日本政府烟草局の製造に係る、龍及孔雀印を喫せよ政府の代理店は三井物產會社なり」と、即ち此ボイコット煽動者は三井物產其ものなることを自ら證明せるもの也。

▲官烟輸出の減少　日本專賣局代理人の功空しからず滿洲に於ける一九〇四年下半期の輸出は五十六萬六千餘圓なりしもの、一九〇五年には三百十四萬五千圓に上り支那に於ても四倍の增加を示せり、されど一九〇六年に於ては歐米の製烟業者は舊態恢復を圖りたる爲め日本の支那への輸出は五割強を減し韓國に於ても幾分の減額を見たり一九〇五年の一月乃至十月迄に日本が諸外國に輸出する烟草の總額は二百三十三萬九千七百六十圓なりしが、一九〇六年の同期間は僅に百四十九萬四千四百八十圓に過ぎざりき。

▲官烟輸出の前途　日本の烟草專賣が財政上の見地よりせば成功せりといふべく之に向ては異論を挿さむの餘地なし豫算に比して賣收の過剩を見たるは事實にして現に施當年に就てのみ見るも二千七百五十萬圓の純益を得猶引續き增加しつゝあるなり又內國市場に於ては無論其の欲するが儘に進行し得らるべきも獨り外國に於ては其品質を改良するか又政治上の特殊の保護を得るにあらざれば其位地を維持し難からむ上海に於て製造中の外國烟草業者は殆ど同一の低廉なる賃銀及び船便を有して上等の烟草を產出し得るなり若し自由にして公平なる戰場に相鬪はしめむか勝敗の數は既に明なるものある也。

最近の御製

天皇陛下が敷島の道に分け入りたまふこと深きは今更の事ならず。こゝに最近の御製數首を漏れ承りて讀者と共に聖德の高きを仰がん

庭訓

たらちねのにはのをしへはせはけれど　ひろきよに立つ基とはなれ

手習

をさな子のならへはならふ程みえて　淸くなり行く水莖のあと

歌

思ふ事うちつけにいふ幼子の　言葉はやかて歌にそありける

事もなく調へあけたる言のはの　花にそ匂ふ國の姿は

夕

つかさ人まかへし後の夕まくれ　心しつかに文を見るかな

夢見故人

したはしと思ふ心や通ひけん　昔の人を夢に見わける

清國の將來と列國

波斯の騷亂は外電の所報によるも靜穩に歸したるものゝ如く之には英露協商が與りて力あるべきは外交界も一般に認むる處なるが淸國の事年と共に漸く危殆に瀕せんとするも日英露佛の對淸同盟若くは協約は波斯に對する英露協商の如く何等效果を奏せざるは聊か奇異の現象なるが如きも其理由は淸國に利害を有する獨米二國が右同盟協約と直接關係なきため同盟協約國は各二國に對して遠慮する處あり二國は又此際彼の同盟協約に清國に對して果して如何に發展活用せらるべきかの監視を怠らず同盟協約國と獨米とは互に相睥睨して互に相陷擠し徒に淸國をして其間に增長滿心せしむるに過ぎざるは目下淸國對列國の形勢なり而して此形勢は遂に新生面を開くの望なきか其現狀は果して何時迄持續すべきかにつき外交界の定論を聞くに歸着する所は淸國の現狀は永く繼續すべからず早くは今春遲くは兩三年を期して一大變調を其內國に釀成し來るべしといふにありて利權回收熱の白熱一度に達する時西太后夢去の時、政体改革時、政府財政の中央と地方に衝突を來す時等は右の時機を致す重なる原因と目せられ遂に自國の力自國を如何ともする能はざるに至りて日英同盟は最早米獨を憚る暇なく明文通り淸國保全のために活動せざるを得ず日露佛之に連繫して協約の本文を實行するに至るべく獨米兩國と雖ども其大勢に抗る能はざると共に東洋の利害點に向つて一毛の遜色あるを許さゞるべく而かも同盟協約の一視同仁公明なる態度は能く獨米の誠意を抱容すべきを以て即ち列國一致淸國の擾亂に干渉して初て淸國と列國との事大に定るに至るべしと觀察されつゝあり

東鐵附屬地借地料

東淸鐵道會社附屬地の借地期限は無期限にて自由に賣買し得るは哈爾賓の附屬地のみにして他の沿線各附屬地の借地期限は五ヶ年にて同期限內に於てのみ自在に賣買することを得借地料は各附屬地とも同一なりし即ち一平方サージエン（我七尺四分平方）十哥、隅地二十哥なりき然れども斯の如き借地料は千九百三年より千九百四年の最初に至る沿道工事の殷盛を極めし時代に制定せられしものなるにより當時の事情よりすれば隨分當を得たるものなりしが現今は沿道工事既に了りて日遂く商業又不振なるより沿道の人民悉く其借地料の廉に過ぐるを言ひ立て就中東淸鐵道の重要驛たる滿州里海拉爾齊々哈爾驛附屬地內の人民の如きは互に相盟約し爾來地代を拂はざる事を申出しを以て東淸鐵道會社にては其請求と不平との聲に考ふる所あり海拉爾を無期限借地購買地區とし其の地價を一等地一サージエンに就き二留半、隅地三留、二等、三等、四等地は隅地と普通との區別なく一般に一留五十哥乃至二留とし之を基準とし其五分を借地料とせり故に一等地は一サージエン平方一年十五哥より十二哥に、二等地は十可、三等地は五可、四等地は二可半となせり然るに同會社の地所掛は更に之に改正を加へ土地盛不盛の狀況により一等地を十可、二等を七可、三等を五可、四等を二可とし隅地は中間地の二割五分を增加することに決せり而して右決議は重役會議に於て可決し之を來千九百八年一月より實施することゝなれりと云ふ

火事に就て（二）

火災の原因　火災漫延の理由　火災の火家屋

爾後地震ふて事切なるより煉瓦造の不安を喚き木造の廉價にして安全なるを傳へたりしと雖も地震の恐懼は數年にして去り商街の家屋は殆んど防災家屋となり三階四階の煉瓦造すら設けらるゝに至れり一八九二年には十二階の細長きクロニクルビルヂングは鋼鐵及鐵を骨として建立せられぬ而して災禍續いて來りたるも些少の損害を蒙むらずして止めり、かくて高層の家屋は漸次建築せられ終に高さ三百尺餘雲表に聳ゆるコール、ビルヂングの建立を見るに到りぬ較近新型の家屋建築術進步し來り大都市の住民は舊套を脫して熱心に新式家屋設置を渴望しつゝあるを以て十年後の市街は全く改造せられずんば已まざらんとす一九〇六年の始め防火家屋は同市建物の市の二分を占め同年四月十八日の災禍來るや商街の多くは寧ろ之を歡迎せり。今や吾人は地震より起る火災原因の實相を穿索せんが爲め茲に幾年の昔を再び辿て看察するを要す、抑も煉瓦及び木造が倒落する主因は天災の破壞に在り而して一災忽ち萬變を吞むの猛勢は邸宅の崩潰丸太小屋の倒碎等にして亦常線の破毀もその一因たるを失はず故に大火暴發漫延の眞因は僅かに粗屋及木造家屋に餘火飛着の結果に外ならざる也、一火飛んで容易に木造家屋を燒き更に一火飛んで粗屋を襲ひ點々たる小火の浸害をすら防ぐ能はざる粗屋木造家屋は忽ち大火の原因をなすなり恐るべきに非ずや、數年間火災の市街は水を以て火と戰ひて勝てり而かも多大の損害は免れざりき、ミッション、ウエスターンアヂション等は海及下水、港灣より水の供給充分なりしを以て消火に好都合なりしと雖も火災の爲め多大の損害は免れざりき、火災を起したる稠密の住家は附近高樓を燒くの好燃料なりき、フレモントよりフオールスに到る迄ミッション街は殆んど煉瓦建の家屋櫛比せり而して此等は一度火災の襲來するや木造家屋よりは防火に便なりき、されどマーケット街の北方に於ける煉瓦屋は第一に災禍に罹り防火家屋すら之れを防止する事能はざるを奈何せん、而かも火は猶其の勢を減せず支那人街を超ねてミッションに浸害し來り急激なる速度を以て廣濶たる遊步地の外悉く燒き盡したりき、八十呎の廣さを有する市場の南地は延燒を免れず又ホールセール街に於て六十八呎九時の間を燒き拂へり翌日猶々たる火勢は漸くパン、チッスにて消止むるを得たり。

生命保險の將來

（阿部泰藏氏談）

輓近我が生命保險業は長足の進步を來たしゝや全國に於ける被保險人員は無慮一百萬人を超過するに至れり、されど今假りに我國の總人口を五千萬人と見做して比較せば正に五十分の一に當り即ち人口五十人に付被保險者一人を有する割合となり若又た一戶の家族を平均五人と見れば十戶に付僅に一人の被保險者を有する次第にて尙は一般人口中には幼兒老年等絕對的に被保險者となる資格なきものも含まれ居れば實際に於ける割合は更らに一層低下すべく、從つて我が生命保險業の前途は洋々として多望なりと云ふべし、回顧すれば三十七八年の日露戰役中には斯業は尠からざる打擊を受け窮境に陷りたるも超ゑて卅九年三四月頃よりは景氣次第に回復し四十年に至りては稀有の好況を呈して其の契約金額の如きも各會社を通計すれば一億三四千萬圓の巨額に達したるべし、此前年來の趨勢を以て將來を推せば財界に豫期せざる大不祥事の現出せざる限りは依然として好成績を擧ぐべきは想像するに難からず、但爰に憂ふべきは各會社の競爭が益々激烈を極むるに至らざるべきかの一事なり、戰後萬歲、日之出、國光及び日淸等の新會社數多設立せられたる結果さなきだに我が生命保險會社は其數の多きより動もすれば競爭の弊に陷らんとする傾向あるより將來は競爭益々劇烈を加へ果ては紹介人に手數料を與へ若くは御馳走政略を行ふなど妄りに無用の經費を使用し或は不健康体と知りながら保險を附するが如き極めて亂暴なる手段をも採るに至るべく此結果は危險の分子、實際損害の件數も次第に增加して會社の基礎は益々薄弱を加ふるに至るべきは明かなり、蓋し極端なる競爭の結果は遂にこゝに至らずんば已まず警戒せざるべけんや、尙は余は近來屢々保險官營說の流布せらるゝを聞く政府が眞に其の意志あるや否やは知らざれども若し果して之れが實現せられんか我保險業の將來に於ける發達は爲めに甚だしく沮害せらるゝに至るべし、蓋し競爭は進步を意味し競爭の行はれざる所事物沈滯するは數の免かれざるところなれば若し政府にして保險事業を獨占せば折角進運に向ひつゝある我保險業の發達に大打擊を與ふる事となるべき也、固より競爭には多少の弊害も伴へざるも其愈々劇甚なるに至れば自然各會社も自覺して之れが善後策を講ずべきを以て深く憂ふるに足らず、余は我國保險業の健全なる發達上より政府の官營說には到底反對せざるを得ざる也

文苑

東京小景（一）　沒名學士

詣靖國神社

嘉永年間以後。合祀斃于國事人士之靈。今爲別格官幣社。每歲二回。勅使參向。祭祀丁寧。實無遺憾焉。

幾多英傑。地下可瞑矣。白骨長城稱妖燄。天下之眼中不置一身寄。安護所懷。儼然大字仰感靈。

小說

紋のみだれ（四十二）

永井櫻園

淸之助の嬌名は女義太界に喧嚣を極むる中、大川が淸之助に憧るゝ中に、早くも梅が香は散りて、見渡せば柳櫻を扱交せて、都ぞ春の錦なりける彌生半とはなつた。淸之助は近所の誰彼に誘はれて花見に往き、養父勇五郎が長閑き一日を留守居して、賣物の花瓶に今や盛の八重挑櫻一枝を活けて小肴を前に獨しさうに獨り酒を酌んで居ると、彼是三時過ぎかとも思ふ頃、馴々しく入つて來たのは淸糸であつた。見るより勇五郎は莞爾々々顏に迎へて

「これは／＼、誰方かと思ひましたらお師匠さんでしたか、さあどうぞお上り下さい今日はお縫が近所の方に誘はれて觀櫻に往きましたので、留守居役を言附られて、この通り宅で花を眺めながら一杯遣つて居る所です。はゝゝ。」

と、無意味な高笑する。

「昨夕那樣談話を爲て居たが、それでは矢張出掛けたんですね、今日は又近頃に無い宜いお天氣で、上野や向島は甚麼に賑はふでせう、眞個花見日和ですよ。」

「眞個宜いお天氣です、定めて大變な人出でせうよ、まあどうぞお上り下さい。」

「では少しお邪魔爲ませうか……。」

と、座敷に上れば、勇五郎は薄つ片な座布團を進める、淸糸は遠慮なく其上に座つて

「今日は少々お話し申したい事があつて來

い都合だから、早速話し爲ませうよ。」

云ひつゝ莨袋を出して吸にかゝる。

「一杯と云ひたいのですが、お師匠は御酒はお嫌ひだし、それに見なさる通り肴が何にもありませんから、此方は廢しにして、お茶でも入れませう。」

と、飮半しの酒をグッと空けて、手近の茶器を取出して茶を入れ、菊野家の紅葉饅頭を鉢に盛つて出す、淸糸は茶を飮みながら

「お話致したいといふのは餘の事ぢやありません、お縫ちやんを非常に最負にして居なさるお客で大川さんと云ふ方があるんですよ。」

「はゝゝ大川さん、お縫から聞いて居りますよ。土木の請負とか爲さる方でせう。」

「はあ、土木の請負もなさる、陸軍の御用達もなさる、なか／＼俠氣のある立派な方ですよ。」

「然うださうですね、そしてお年齡もまだお若い方ださうですね。」

「年齡は確か三十二だとか聞いて居ります其の大川さん、此間私の宅に遊びに入來して種々な談話からお宅の話が出て、淸之助の家は何をする家かと仰やるので左う申すと失禮ですけれど、斯樣々々斯う／＼と難句破亂に、古道具を商つて居られる事から知つてるだけの事を話しましたの、すると年齡こそ若いけれど、なか／＼親切で同情のある方だから、古道具なんか商つて居た所が、迚も多分の利益のあるもんぢやない、それよりか當人に會つて見た上で、何うにか間に合ふ人なら、相當の月給で使つて上げて宜し、それが不厭なら商賣の資本を出して上げても宜いから、一度私から話して見て、其なら然うして貰ひたいと云ふ氣があるなら、都合の宜い時私に連れ合つて來

大陸發展の前途

京城新報

日露戰火を終へて吾人が爲すべき進路は今尙ほ徘徊しつゝあり、吾人は韓半島を保護の下に監督せり、吾人は半島より大陸に向つて實力ある發展を爲さゞるべからず、世人稱して帝國主義と爲す經濟的發展殖民的發展、若しくは民族的膨脹を爲さゞる可らず、而して顧みれば北に於ては間島問題は容易に決定せられざるのみならず、北京政府は其利益を示し、之を主張すること益多大なるに非ずや、其南に於ては鴨綠江森林採伐は讓步と妥協を以てして尙且つ解決せられざるなり、是れ恰かも帝國の勢力を防壓するに足るの好關門にして、吾人は半島より發展すべき樞路を今や控制せられたる也。

半島を保護し、韓國を啓發するの意義、若しくは帝國の對韓政略なるものは、其王宮を肅淸し其首府に於て宏大なる機關を設くるの謂に非ざるなり、絕大なる前後の二大戰役、數次を累ねたる漢城の政變、之を一貫して皆な帝國の勢力を半島より大陸に及ぼすの目的に外ならず、血を以て他の領土を侵略し、火を以て他の土地を侵害するは帝國の目的に非ず、帝國の國民的勢力が半島より次第に大陸に發展するによりて始めて國民的勢力の進張を見るべし、今や然らず、南滿洲と韓半島の間に於て帝國の殖民的若しくは經濟的有力なる連鎖あるか、北滿洲と韓半島の間に於て帝國の進路は悉く故障の爲めに優勢なる連鎖を失へるに非ずや、內に於ては暴徒は到處帝國の殖民勢力を破壞し、外に於ては大陸發展の進路を妨害せり、回顧して世界に於て無比なる戰火の名聲を荷へる帝國國民の前途に及べば甚だ寒心に堪へざるなり。

東京電報

▲觀兵式中止 明日執行さるべき陸軍始觀兵式は雨天の爲め中止されたり(七日)

▲伏見若宮殿下の御渡英 伏見若宮博恭王殿下は本月十日新橋驛を發せられ十一日神戶港にて御乘船御渡英

▲加奈陀勞働大臣夫人の不行跡 加奈陀勞働大臣レミュー氏夫人は同大臣歸國の後も我國觀光のため滯留せしが此間に有夫姦を働き姦夫と手を携へて京都に行きたる迄は分り居れども其後の蹤跡不明なり(以上六日午後)

雜報

▲韓太子の消息 昨日在京李宮內大臣より宮內府宛にて左の電報來りたり

兩宮御安寧なるや殿下には御安寧なり御敎師には櫻井房記を頼み明日より芝離宮に於て御習學あらせらるゝ旨上奏を乞ふ

七日午前に天皇陛下及び皇太子殿下に御對顔あり八日午前十時觀兵式御覽の御豫定なり此旨上奏を乞ふ

右に對し韓國宮內府より左の意味の返電を爲せり

兩陛下御安寧なり特に殿下御習學の旨聞召され深く御滿足あらせらる

●●義親王差遣 明九日は韓國皇太后聖母誕辰の日なるを以て太皇帝には御名代として義和宮を紅陵に差遣せられ陵寢を獻せしめらるゝといふ

●參與官會 昨日例の通り第一回の參與官會議は統監官邸に於て催し、鶴原、[illegible]井、石塚、小宮の各參與官參集し開きたり

●大臣會議 昨日二時各大臣統監官邸に參集し大臣會議を開きたり

統監府出張所 伊藤統監帝國ホテル投宿中便宜同館內に設けられたる統監府出張所は今回伊藤公大森別邸へ移轉に付き近く便宜の地に移轉さるゝ筈なりと

陸軍始め觀兵式

駐韓軍在京部隊は本日訓練院に於て陸軍始め觀兵式を擧行せらるゝ筈なるが之に關する岡崎師團長の命令左の如し

一、各部隊は同日午前十時十分迄に訓練院に集合すべし

二、集合次位軍樂隊步兵第五十一聯隊附步兵第五十二聯隊第一中隊(步兵第五十一聯隊の指揮に屬す)工兵、砲兵、騎兵中隊派遣騎兵隊閱兵の隊形各兵種共橫隊分列の形步兵中隊面の全距離縱隊工兵、砲兵、騎兵橫隊

各隊は閱兵了れば逐次運動を起し分列準備の位置に至るべし但し列外小隊は步兵第五十一聯隊の列外小隊に閉縮し閱兵の位置にあるべし

五、服裝及馬裝は軍裝とす六、各部隊は集合後直ちに喇叭手一名を予の位置に出すべし七、各部隊は集合後直に出場人員表を差出すべし八、閱兵分列並に陪觀者の位置は昨年十一月三日天長節の時に同じ九、予は午前十一時十分式場に至る

諸兵指揮官男爵岡崎中將たるも同中將病氣の爲め横山大佐代つて諸兵指揮たるべしと云ふ

電車値上反對

京城韓人商業會議所は韓美電鐵の値上を不當と認め過日臨時役員會を開きて凝議するところありしが昨日其筋へ向け請願書を以て値上反對の意見を開陳したりと云ふ

▲韓美電鐵にボイコット 韓美電鐵が不當の値上を爲したるため輿論の攻擊するところとなりたるは自業自得の事ながら値上後の電車は以前に比し乘客三分の一に減じたるのみならず或有力なる韓人の團體の如きは近日ボイコットを實行せんと計畫中の由なり

帝國海軍大演習

海軍大演習は本年十月中旬を以て擧行し約二週間にて終了する豫定なるが日露戰役後初度の大演習なれば最新の戰術戰略により第一、第二兩艦隊と橫須賀、吳、佐世保、舞鶴各鎭守府及び竹敷要港部との連繫を以て東は鹿島灘附近より西は朝鮮海に至る海上並に沿海に涉りて行動し參加艦艇は修理中並に特種任務にあるものを除き殆ど全部即ち左記の百六十餘隻に達するべし

▲戰艦(十隻) 富士、敷島、朝日、三笠、[illegible]見、相模、肥前、香取、鹿島、薩摩

▲裝甲巡洋艦(十一隻) 淺間、常磐、八雲、吾妻、磐手、出雲、春日、日進、阿蘇、筑波、生駒、伊吹

▲巡洋艦(十隻) 高千穗、笠置、千歲、宗谷、千代田、秋津洲、新高、對馬、音羽、利根

▲海防艦(五隻) 鎭遠、壹岐、扶桑、沖島、見島

▲通報艦(七隻) 八重山、龍田、千早、滿洲、姉川、最上、淀

▲水雷母艦(二隻) 豐橋、韓崎

▲驅逐艦(約五十隻)

▲水雷艇(約六十隻)

▲潛水艇(七隻)

右の內[illegible]役艦の都合上多少の異動あるならんが薩摩、伊吹、利根、最上、淀の各新艦は未だに艤裝を終り又戰利艦中の相摸、肥前、阿蘇等も修理完成すべく尙艤裝中なる新艦安藝、鞍馬並に修理中なる丹後、周防、津輕、鈴谷も工事の都合上進捗如何により參加し得ることとなるべければ更に二三隻を增加することとなるべく兎に角帝國海軍の殆んど全部が連繫行動を執つて出動するものなれば未曾有の大活動を見るべく殊に新造艦と戰利艦とを收めたる海上の大行動は最も花々しきものあるべし又演習終了後の大觀艦式は多分十一月三日天長節を以て東京灣に行はるゝ由

タフト尙書のヒ島談

米國陸軍尙書タフト氏近頃人に語て曰く一二代の後に非ざれば自治政府はフヰリッピン島に適せざるべし英語は非島の總ての學校に於て敎授さる此は英語が東洋に於ける商業上の通語なるが爲なり、亦曰くヒ島より米國に輸入するタバコ及砂糖に對する關稅を撤廢せざるべからず何さなれば之ヒ島の經濟的開發上最も必要の事なればなりと

內部分課規程

本日發布せらるべき內部分課規程は左の如し

第一條 大臣官房に秘書課文書課及會計課を置く

一、秘書課に於ては左の事務を掌る

一、機密に屬する事項二、官吏の進退身分に關する事項三、褒賞に關する事項四、大臣次官の官房及び部印の管守に關する事項

一、文書課に於ては左の事務を掌る

一、文書の接受發送に關する事項二、文書の飜譯に關する事項三、文書の編纂及保存に關する事項四、統計報告に關する事項五、各局課の主管に屬せざる事項

一、會計課に於ては左の事務を掌る

一、本部所管の經費及び諸收入の豫算決算並會計に關する事項二、本部所管會計の監査に關する事項三、本部所管の官有財產及び物品に關する事項四、廳中取締及營繕に關する事項

第二條 地方局に府郡課地理課及び社寺課を置き

一、府郡課に於ては左の事務を掌る

一、地方行政に關する事項二、救濟賑恤に關する事項三、慈善事業に關する事項四、大役及徵發に關する事項

一、地理課に於ては左の事務を掌る

一、地理地籍に關する事項

一、社寺課に於ては左の事務を掌る

一、宗敎に關する事項二、祠社寺に關する事項

第三條 警務局に警務課、保安課及民籍課を置く

一、警務課に於ては左の事務を掌る

一、警務に關する事項二、警察巡閱に關する事項

一、保安課に於ては左の事務を掌る

一、高等警察に關する事項二、行政警察に關する事項三、移民に關する事項

一、民籍課に於ては左の事務を掌る

一、戶口民籍に關する事項

第四條 土木局に治道課、治水課及衛生工事課を置く

一、治道課に於ては左の事務を掌る

一、道路橋梁の特設及修理に關する事項二、鐵道軌道及び電氣に關する事項三、土地收用に關する事項

一、治水課に於ては左の事務を掌る

一、河川港灣砂防及灌漑の事業に關する事項二、水面の埋立及使用に關する事項

一、衛生工事課に於ては左の事務を掌る

一、上水及び下水に關する事項

第五條 衛生局に保健課及醫務課を置く

一、保健課に於ては左の事務を掌る

一、傳染病及地方病の豫防に關する事項二、其他公衆衛生に關する事項

一、醫務課に於ては左の事務を掌る

一、醫師及產婆に關する事項二、藥劑師藥種商並に藥品賣藥の取締に關する事項三、病院及衛生に關する事項

第六條 各科に科長を置き其事務を擔任せしむ

附則

第七條 本規程は頒布の日より之を施行す

第八條 光武十年十二月廿八日內部分科規程は之を廢止す

巡查給與令發布

內部令第五號を以て巡查給與令を發布せられたるが其條文は左の如し

第一條 巡查の月俸は別表に依る但日本人の巡查には手當金を給す

第二條 敎習中の巡查の月俸は三圓乃至五圓とす初任にて巡查を命ぜられし者の月俸は六級以下とす

第三條 六級以上の月俸を受る巡查には六個月を經過せざれば增給するを得ず

第四條 判任官以上の官職又は巡查監督の職に在りし者或は巡查の任に當る巡查及刑事巡查其他特別なる技能を有する巡查には第二條を適用せず

第五條 刑事巡查其他特別なる技能を有する巡查に月二十圓以內の特別手當金を給することを得

第六條 巡查には一個月十圓以內の舍宅料を給す

第七條 月俸は新任、增俸及降俸の場合には其日より給し退職又は自己の任意を以て[illegible]

第八條 [illegible]舍宅料及特別手當金の給與規程は別に之を定む

第九條 病氣又は私故にて執務する能はず六十日を踰ゆる者は日計を以て月俸の半額を減す但公務に因り傷痍を受るか或は疾病に罹るか又は服忌に當る者は此限にあらず

附則

第十條 本令は隆熙二年一月一日より施行す

第十一條 本令を施行する際に別に辭令を受けざる者は現に受くる月俸及特別手當を給する者とす

第十二條 光武十年二月內部令第一號各道及各開港市警務署巡檢俸給規程は本令施行の日より廢止す

尙ほ巡查の月俸は巡查監督の任にある巡查は一級十四圓、二級十三圓、三級十二圓とし其他の巡查は四級十一圓、五級十圓、六級九圓、七級八圓、八級七圓と規定されあり右の外巡查採用令及給與品及び貸與品規則をも發布されたるが何れも我邦の規則と大差なしといふ

●赤十字社彙報 日本赤十字社長松方伯は地方支部の協力に依り社運倍々好況に向ひ現に先年豫定せる十年計畫も著々效果を收め十年を待たずして其目的を達し得べき現狀なるも我國運の發展に伴ひ本社救護準備も擴張を要する點少からず隨て之に應ずる資金の增殖は最も緊急事に屬するに依り今四十一年度に於ては社員增募並に年醵金整理等特に盡力ありたき旨新年の賀辭に一片の希望を述べて內地各部長及滿韓委員總長宛通牒する處ありたり

●●●婦人會新年會 愛國婦人會京城龍山役員及會員有志は本日午後二時より日本人俱樂部に於て新年會を催す由なり

仁川運送業者

運送業者に對しては今回韓國鐵道所屬運送業改善方法として御用金及身元保證金の制度を設けたる事は旣報の如くなるが仁川運送業組合に於ては之に對し左の照會を其筋に提出する筈なりといふ

一、貨物運賃割戾手續中第二條割戾步合の內容

一、同第三條身元保證金の程度及其保證金は一驛每に納入すべきものなるや

火災保險の禁止率

京仁に於ける火災保險業者が新契約を拒みつゝありたることは昨報の通なるが該業者等は從來の保險率千分の二十五にては他に比し足らずとなし今回其倍額千分の五十と云ふ世界無比の高率に騰せたりと云ふ

英蘭銀行の金利

英蘭銀行金利の引下に就きて倫敦市中割引步合は四日チャータード銀行着電三箇月五朱、四箇月四朱八分の七、六箇月四朱十六分の十五、正金銀行へは三箇月四朱二分の一、四箇月四朱四分の三、六箇月四朱二分の一、日貸利息四朱四分の一、一週間據四朱二分の一を報じ來りしと

線路改修と承諾書

鐵道線路改修土地につき日本人に屬する分は昨年末完了し淸國人の承諾書も全部出揃ひたるを以て本日海津爛托宛送附したり

●●●●仁川地番實施 仁川に於ては從來戶番制を採用し來りたるが居留地行政上不便少からざりしを以て今回愈地番制を實施することに決定したりといふ

露紙の日米論

過般タフト卿が露國に來遊せられたる節ノーウォエ、ウレミャは其の社說に於て概要左の如き說を爲せり(譯者曰く事實と違へり)

國陸軍大臣が其艦隊を率ゐて外國に航行せる此旅行を以て是れ太平洋上に秋季の觀光に一時の愉快を得るが爲め旅行せしとして之を觀るを得べきか暮秋の太平洋は波浪高くその海上慰樂の旅行に適せざるなり然らば則ち米國陸軍大臣が我領海に來遊せられたるは他に何等かの動機ある者にして決して徒に船暈に苦しむが爲に非ざる事を察すべし

今日迄斷へず成効を伴へる日本の進擊的政策は極東に利害關係を有する諸國に自然不安の念を喚起せしめたり日本の發展政策の爲に最も危險を感ずるに至りたるは太平洋を以て自己庭園の一池の如く想像し居れる米國なり米國は其西岸に於て最近に至る迄米國運動上に更に競爭者を有せざりき淸國の因循は恐るゝに足らず露國は退縮せしめられて先づ以て將來發展の見込みなし我等は我がワシリチコフ侯は我太平洋沿岸に果て露國民の植民事業を眞面目に慮り居るや否やを疑ひ又イズウォルスキイ氏は果して能く該地方に外國民の侵入し來るを防止し得るや否やを疑ふ者なり斯の如くなるを以て露國も淸國も太平洋方面に於ける米國の競爭者に非ざること明かなり

米國民が夢想せる光明なる希望に一點の陰翳を與へたる者は只だ俄に其侵略的天性を露せる日本あるのみなり日本が尠からざる效果を收め得たる日露戰爭は北米合衆國民が日本に軍需品や日用品を供給して得たる結果なるが是に依りて米國人は日本を助けて却て自ら恐る可きの敵を作りたるなり戰爭前には何人も此の事に思ひ及ばざりしが今や何人も此の事を認むるに至れり最近の日米間の紛議は將に戰爭を開かんとするの形勢ありし事あり然し兩國政府の意志の疏通に依りて此の戰爭を避くるを得たるも此戰爭を引起さんとするまでに至りたる原因を一掃する事は兩國政府の果し能くする所なるや否やを疑はざるを得ず日米兩國は互に萬事に就きて其の方法を講じ居れり日本は其背面と側面を安全ならしむるが爲に歐洲諸國と頻りに協約を結べり米國は[illegible]海軍の兵力を大西洋より太平洋に移さんとす米國は比律賓諸島の防禦工事を完了して一方の側面より日本を威嚇せり又米國は[illegible]西貢に於てセント・マグダリン港を[illegible]根據地として之を得たり米國の爲に威嚇を免れ居る側面とては只だ浦鹽に面せる一方あるのみなり

今回米國艦隊が我極東港(浦港)を訪問するは或は是れ米國が此側面より日本に對抗する爲に根據地を得んとするの試驗に非ざるなきか

若しそれ國際問題に關して直接なる感想に從ふを可とせんか吾人は左の如く云ふを得可し曰く若し米國が斯の如き試驗を爲せりとせば我等は宜しく是を歡迎す可し左れど斯の如き決定を爲すは固より輕卒なり

我露國は自己の國際的の義務に關しては何時も其の禮を失はざるなり米國人は日露戰爭の際に萬事に就きて我敵國を幇助したりと雖も我等は敢て米國を敵視する者に非ず又我等は日本に對しても亦敵意を有する者に非ず日本とは既に親善の協約を重て成立せり現今の形勢が如何に我に取りて直接の利益あるが如き誘惑ありとも決して隣邦の犯罪に加擔す可きに非ず日米間には近くは若くは遠き將來に於て戰端を開く事ありとも我は日米兩國の困難に對しては他人の不幸に乘じて自己の利を謀るが如き事を爲さずして宜しく局外中立の位置を持せざる可からず

然りと雖も此の一般の概況に依りて我は必ずしも現下の細事に關して其手足を牽束せらる可き者に非ず例へば米國が其の自國艦隊の錨地として我が浦潮の一を租借せんとの希望を現はしたりとせば此の如き些細なる問題の解決は日本が露國に對して盡す可き義務の履行如何に因りて如何樣にも決せらる可き問題なり日本の爲政家は今日に至るまで我等に對して兩國相互の一般利益となることに對しても何等の善意をも表はさゞるなり南部サガレン並に遼東半島に於ける露國民の位置、滿洲蒙古太平洋沿岸に對する日本の政策は今日に至るまで日本は未だ戰捷の利を何ほ充分に收め了らざるが如き情勢あるを想像せざるを得ず斯の如き狀態なるを以て我等は我義務を文字通りに履行するの地位に立ちながらも此文字の範圍外に何ほ現下の外交事情に應じて臨機萬事を利用せざる可からず我隣邦の交誼が愈々親密になり我等が懷中に石を用意せざるに至ると否とは一に日本の我が露國に對する如何に干するなり

●黃海道の暴徒 十二月廿六日午前八時銃器携帶の匪徒約三百名黃海道兎山巡查駐在所に襲來せしを以て巡查二名巡檢一名直ちに應戰し戰鬪約五時間の後之を擊退す

●平昌の暴徒 綾部中尉以下廿二名は五日夜十時平昌出發賊魁兒永の率ゆる七十名の暴徒を平昌北方約六里の「リクトウ」に襲擊し其六を殪し多數負傷せしむ我に輕傷二、銃器破損一、銃劍二

●忠州の賊 忠淸北道淸風郡烏嶺に於て巡檢隊と閔泳八、李明相の率ゆる約七十の匪徒、衝突せるも山路の險惡と積雪の爲めに行動意の如くならず僅かに一名を殪し銃九・小銃改造器一個を鹵獲したり又匪徒密使一行を逮捕し取調たるに其陳述に依れば首魁曾衆參、閔泳八、白南奎、李明相、金奎緖、金翁翰は一定の場所に集合し將來の方針に關し互に協議せんとする模樣あるを以て巡查を四方に派し內偵中なり

▲治外法權▼

正月の閑に紙屑籠を整理致候處計らずも昨夏政變の前に吐出したる馱川を記せし一紙片を發見致候御笑戴にまで御覽に入候

錦陵尉死罪の臣と脂下り

○王は知らぬふりして手ばなかみ ●●●

朴齋は兩便つまり驅出し

排日の熱で伊藤の○が立ち

其立つた○で出來した李內閣

其後

李總理は茶の湯の席で足を撫で

●解隊兵歸順 江原道原州解隊兵にして日本人の所在搜索の任に當りたる者二名歸順を申告し悔悟の狀あるを以て之を許し又匪徒に投したる者五名歸順せり淮陽郡[illegible]

●匪徒の歸順 [illegible]北漢山匪徒に與み[illegible]又歸順したり

●仁川局爲替貯金高 十二月中に於ける仁川局爲替貯金取扱高左の如し

通常爲替振出高	一、五四四	六〇、三三〇・〇四
外國	三	一五七・四〇
取立	六六七	三、四五九・七一八

●信夫理事官の歸任 一昨日上京せる信夫仁川理事官は昨日歸仁せり

●統監府員の出發 統監府屬近藤左右一氏は九日當地出發東京に出張を命ぜられ[illegible]すべしと

●仁川局員の歸朝 戶島電信係長實父病氣看護の爲め一時歸朝せり

●關稅局落成 豫て新築中なりし關稅[illegible]上り西小門外一壯觀を添ゆ依て永濱關稅總長藤原書記官寺尾事務官以下同局員多數同所に移轉せり

●仁川醫員の寄附 仁川病院上田長藏氏より三十圓を小學校基本金へ寄附されたり

社告

吉岡唯一

右之者今般退社爲致候に付ては向後本社に關係無之候間此段廣告す

一月一日 京城新報社

器具の長壽法

器具と計りでは漠然とした問題になつて了ひますが、日常使用の道具類は大小に拘らず、又如何なる種類を問はず、其取扱ひによつて保存期限に少なからぬ影響を與へます、即ち器具の壽命に著るしき關係があります。

たとへば硯なら硯箱に就いてお話しをするとすれば、それを取扱ふにしても片手で縁のところを押へて持つたりなどすることは甚だ宜しくないのであります。勿論如何なる粗造な硯箱にしても、片手で縁を握つたくらゐで直に毀れて了ふといふやうなことは無いのでありますから、何も硯箱位を取扱ふに、重々しい禮式的の動作をするにも及ぶまいと思ふ人もありますかは知りませんけれども、併し是は何も禮式などの上から割出したところの取扱いでも何でもありません。

そんなら何故に其樣な面倒な取扱ひをしなければならぬかどいふに、それが即ち器具の生命に關するからで、硯箱に限らず、總ての其他の品でも、常に片手扱ひをして居りますれば、長い間には其部分が自然に弱つて來ますので、先づ第一に其部分の漆に裂目を生じて、それからそれが臺になつて次第に漆が剝げ始める、而して段々と縁が搖ぎ始めて、終には全く離れて了ふといふことになるのであります。

器具の壽命に關するとは、其點を指した事で、最初から注意をして、ツマリ物の理合といふことから考へて、成るべく損せぬやうに物やはらかにさへ取扱つて居れば二年や三年で損すべき品でも、五年や七年十年と長い壽命を全ふさせることが能るのであります。

又其他硯にしましても、墨を磨る時に眞中のところ許りで常に墨を磨つて居ると、長い間には自然と其部分が凹くなりますから成るべく兩側も中央も萬遍なく墨を當てゝ同じく石が減るにしましても、平等一面に減るやうに心掛けるのが器具の壽命の長短に關することでありますから、器具使用の經濟法として日常心懸けて居らなければなりません。

又ペン先、毛筆のやうな消耗品にしても、使ひ放しにして置くのと、用の濟んだ時には墨なりインキなりを、奇麗に洗ひ落して仕舞つて置くのとは、壽命に大變な差があります。

其外家庭日常の大小の諸道具も、取扱ひ方について、それぞれに注意すべき要件が々ありますから、それから追々と書くことに致しませう。

義和宮の艶事

白人妖婦アストルハウスより通ふ

張嬪の腹より生れ玉ひ畏くも義親王と宣下せられ義和宮ぞが乗り身は何不自由なく暮させ玉ふものから曾て日本に留學あらせられし時東京烏森湖月の女中と少からぬ浮名を流し玉ひしことありしが夫より亞米利加に渡り留學の節も同地の賤しき女優と關係し少からぬ金を遣ひ果し之れが爲め借金に首も廻らぬ始末となり學問は遂に濡事の學問となり世界の關くまでも濡太子として浮名を歌はれしかば父君も甚く心配あらせられ日本に召還されたるが此時日韓協約成立し伊藤公統監として來韓されし際義和宮も共に御歸韓ありて久々振りに父皇と御對顏あり妃も甚く喜ばせ玉ひしも束の間にて日本滯在中召使はれたる愛妾も御供し來りしより色々と義和宮に申上げ一夜とて妃との添伏しも叶はざりしは傍の見る目も實に氣の毒なる有樣なりしとは或る人の話しなり扨て昨年再び日本に渡られ東京滯在中婦女をたらすに妙を得られし義和宮には東京に徘徊居りし年未だ若き金髮の妖婦と關係を結び玉ひ百萬遍も喜しがらせを宣ひしと見へ此度家政整理の爲め昨冬歸韓あらせられ寺洞の邸に入せられ今に御滯在中なるが右の妖婦は義和宮戀しさ東京にありて西の宮を眺め待てど焦せど仲々に待ち遠かりしと見へ數日前單身跡を慕ひ來り目下アストルハウスに滯在し時々寺洞の邸に伺候し樂しき睦言に夜を明すも少からずとの事なり

亂暴皇太子

「破落戸殿下」「歐羅巴の惡童」とはバルカン島民のサーヴィア皇太子ジョージ親王に奉りたる尊稱なり親王當年正に廿三歲、尚紅顏の美少年ながら其の亂行に至りては古今稀に見る所なりといふ今を去る一年有半、父君はルヴアッスールなる一少佐に對し親王の敎育を託せられ扨て嚴かに宣ふやう「皇子の敎育は朕之を汝に託す汝宜しく先づ彼を人間たらしめ次いで軍人たらしめ最後に君主の器となす可し朕亦十分の援助を與ふ可し」と密に陰にありて之を聞きたる親王は心中密にセヽラ笑ひながらナンノ、ルヴアッスールしきの讙に束縛せられて堪つたものぞ我に策ありイデ見事に彼が羈絆を脫す可しとありて少佐に對し先づ激烈なる騎走を強ひ爲めに少佐は落馬すると二回に及びたれども左したる傷を負はず且つ頻ひ稀なる名騎手なること判明したるにぞ是は手ぬるしと思ひけん今度は喧嘩を吹掛け機に乘じて少佐に切付けたり左れば少佐も餘りの邪に遂に病院内より辭表を奉呈するに至れるを是れ幸ひと亂暴仲間を引具して夜な／＼芝居、音樂館と押しかけ廻り或はシャンパンの瓶を取つて舞臺に投付或は舞臺に躍上りて女優を追廻すなど亂行の限りを盡し又さる將官の愛孃を誑かして遂に結婚まで承諾せしめながら元來本氣の沙汰に非ざれば暴亂仲間の一人を僧侶に扮せしめ之に結婚の式を司らしめよき程に女を弄びたる後捨てゝ之を顧みざるに至りたることもあり又一夜カフェーにて頻に酒を煽れる中追々興の湧き來るに何がな一番目覺しき事の試みたくなり左らば一番郊外なる尼寺を襲はんとて中宵突如ざし馬車を驅つて寺に至れるが一老尼の勇敢能く暴動を防ぎ幸にして事なきを得たりと云へり

●釜山の初雪 釜山にては客年十二月三十一日に初雪ありたる旨、地支所より通知ありたり之を昨年に比するに二日平年に比すれば七日遲かりし（統監府觀測所報）

●天然痘續發 當地永樂町二丁目の井上フチ（二十）は六日に▲龍山榮町の池邊ルイ（二十）は四日に▲當地本町八丁目の大津清次郎（九）▲永樂町二丁目の牧野仁三郎（三十）▲曙町の本田松太郎（三十）▲南山町三丁目の三木トワの四名は客月末に何れも天然痘に罹り去る十二月中の本町警察署管内の總患者は十六名にして此の外に隱蔽し居る者幾何なるやを知らず人々豫防に注意すべし

●困つた腰辨 愛上茶洞は或るいぶせき溫突に一家四人暮しの家族あり主人といふは當年三十二三の分別盛りにて名は皆野春之介とかいふものなるが夫婦の間に二人の兒を擧け自身は某役所の腰辨となりて通ひ居る身なるが根が浮氣の性分と見ねて妻子の事は更に顧みず毎月役所より受取る月給の大半は大方酒食の費用に遣ひ果し米櫃の空になりて妻子の泣き縋るをも更に意に介せず金の有る間は切々とそこらの料理屋又は淫賣屋に通ひ詰むるといふ始末なるに妻も默つては居ず疊叩ひて意見を加ふること屢々なるが當人は一向平氣にて却つて諫むる女房を煩さにも持掴みて蹴つたり撲つたりする始末なるに女房も今は愛想を盡かして夫の爲すが儘に任せ居りしが同僚は見るに見兼ねて或時懇々と意見を加しが其當座こそ友人の手前謹愼はせしものゝ持つて生れし病はイッカな癒まず晴れての正月の屠蘇機嫌を切ッ掛けに又々近頃桒との道樂を始めしとの事なるが妻子のあるにも拘はらず殊によい歲をして斯く家内に苦みを掛くるとは扨も困つた腰辨かなどの投書の儘を

●法螺を吹いて拘引せらる 新義州郵便局の事務員にて和歌山縣平民堂西金十郎といへるは豫備步兵上等兵なるが生來の法螺吹にて正八位陸軍步兵少尉と肩書せる名刺を振り撒はし居りけるが官名詐稱罪として同地の憲兵に檢擧せられしといふ

●線香の煙り 客年十二月中仁川敷島の遊客高及び遊興高は最高が一山支店にて二千五百五十四圓十錢この遊客六百二十四人最低は敷島支店にて九百五十一圓二十五錢この遊客百七十六人敷島全体にて一萬四千三百九十九圓四十八錢此の遊客三千四百六十九人と注せられたり

●歌舞伎座の替り藝題 小喜多村一座が今日の替り藝題は「琵琶歌」にて其の役割は左の如し

武田正次（岩尾）あば熊（池田）荒井三造（千鳥）江島春燕（若宮）付れ辰（橘）妹里野（高木）柳田軍曹（上野）醫師門田（宇野）花浦菊枝（淺井）女中れ杉（平井）西村禮太（大町）武田（貞次小喜多村）

●解隊兵歸順 ▲江原道原州解隊兵にして匪徒に投したる者五名歸順せり▲淮陽郡 … 又歸順したり
●匪徒の歸順 ▲全羅北道錦山匪徒に與みして日本人の所在捜索の任に當りたる者二名歸順を申告し悔悟の狀あるを以て之を許 …
●仁川局爲替貯金高 十二月中に於ける仁川局爲替貯金取扱高左の如し
通常爲替振出高 … 外國 … 取立 …
●信夫理事官の歸任 信夫仁川理事官は昨日歸仁せり
●統監府●の出… 氏は去九日當地… 一昨日上京せるすべしと
●仁川局員の…

新築落成

龍山元町壹丁目

會席御料理 八景園

電話四六番

營業科目

- 土地家屋鑛山山林賣買貸借ノ仲介
- 土地家屋鑛山山林測量製圖應依賴
- 灌漑排水事業設計應依賴
- 土地整理竝丈量應依賴
- 鑛山竝未墾地出願代辨
- 土地家屋賣買證明願手續代辨
- 外國旅券出願代辨
- 新聞廣告取次
- 電話賣買取次
- 韓國に關する著書雜誌閲覽
- 韓國に關する非賣出版書閲覽
- 韓國に關する本社調査書類閲覽
- 商品依託持約代理店ノ仲介

▲本社は誠實秘密且敏速に業務を營む
●建物の賣物 ●鑛山の賣物 ●田畑の賣物 ●宅地の賣物
明治四十年十二月廿日認可
明治四十年十二月廿五日開業
▲本社は各方面に渉り各事項を調査す
本社 京城永樂町一丁目八番戸假事務所（電話架設中）

京城仲介社

支社
- 東京 東京麹町區富士見町 伊藤豐二郎
- 大阪 尼ケ崎宇宮町 由比昌太郎
- 仁川 仁川新町二丁目 遠藤喜一平
- 釜山 釜山入江町一丁目 加納佐一
- 木浦 木浦山手通三丁目 谷垣嘉市
- 鎭南浦 鎭南浦西二丁目 古田稻市
- 開城 開城西部 今福又三
- 水原 水原府南門内 木野村甚太郎
- 元山
- 鏡城 鏡城北門内 菅鶴平
- 右當分の間にて尚各地に設置準備中

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候

資本金 三百万圓

本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山 仁川 平壤 鎭南浦 安東縣

株式會社 第五十八銀行京城支店

（電話五八番）

爲替取組先

畿内	二十七ケ所	
東海道	十三ケ所	
山陽道	七十五ケ所	
南海道	二十三ケ所	
北陸道	五ケ所	
臺灣	二ケ所	
東海道	二十八ケ所	
北陸道	十三ケ所	
山陰道	三十三ケ所	
西海道	一ケ所	
韓國	九ケ所	
清國	一ケ所	

木炭着荷

京城南大門通三丁目

英光棠商會

電話九四八番

新築移轉廣告

弊院儀從來の家屋にては狹隘を感し候間今般肩書の所へ新築移轉仕り一層叮嚀親切に各科の治療に應じ可申候

追而無代施療券配布方を民團役所へ托し置き候に付藥價に苦む貧民諸氏は該券請求の上持參あれば無料治療に應可申候

長谷川町二丁目

蘇生病院

一各種石炭大販賣

- 大の浦塊炭
- 豆田塊炭
- 大辻塊炭

ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候

- 三池粉炭

鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應し可申候

當社一手販賣炭左之通り

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物產合名會社

京城出張所（電話二十六番）

仁川出張所（電話六十三番）

西洋御料理宴會

日本人俱樂部

京城南山町三丁目（電話一二三番）

日韓瓦斯電氣會社

電車（線區域、賃金）改正

新年一月一日以後從來の切符を全廢可致候に付凡て現金にて受持車掌へ御拂渡被下度候乘車賃は一區金五錢宛

- 龍山線 鐘路より京仁鐵道交叉點迄 一區／京仁鐵道交叉點より龍山迄 一區
- 麻浦線 東大門より西大門迄 一區／西大門より孔德里迄 一區／孔德里より麻浦迄 一區
- 東門外線 東大門より淸凉里迄 一區

一區ニ付 金五錢

既に御買求の切符は新年一月三十一日迄の内鐘路本社に於て何時にても買戻可致候若一月日以後尚乘車賃として御使用の場合は前記一區二付貳枚宛申受候事

本店 東京市日本橋區兜町

內地支店 大阪、名古屋、京都、四日市
韓國支店 仁川、釜山、木浦、群山、大阪、横濱、神戸
及出張所 平壤、開城、鎭南浦、馬山、鏡城
清國出張所 安東縣

株式會社 第一銀行京城支店

- 總支配人 市原盛宏（電話 營業部 六一番）
- 支配人 竹山太郎（當直用 六二番）
- 國庫支部長 三島純平（同 六三番）
- 國庫部支配人 市村雄次（國庫部用度係分析所 六一二番）

是迄本町通に於て營業罷在候處都合により一時營業の全部を中止仕候然る處今般新築家屋に移轉仕候間更に舊に倍し御引立を蒙り度候謹て新築移轉御披露旁營業中止の御挨拶申上候也　頓首

弊店儀

三好和商店

京城南大門通二丁目九番戸

（專用電話一五三番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 七拾貳萬圓

株式會社 十八銀行京城支店

京城南大門通（電話四一〇）

本店 長崎市築町

支店 出張所
- 韓國 京城、仁川、釜山、羅州、龍山、木浦、元山、群山
- 日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日歩壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

熊平製造金庫

東京 竹內製金庫
大阪二重瓶並ニ回轉式 消火器

韓國販賣部

京城本町一丁目

熊平商店

電話六二四番

會席御料理

並に

仕出し

京城西小門內

福來亭

日本郵船株式會社

仁川出帆廣告

貨物及船客取扱店

仁川海岸通 郡回漕會（電話三九番）

京城南大門通 巴商店（電話三〇六番）

釜山、長崎、門司、神戸行	山東丸	一月二十五日後三時
釜山、門司、神戸、大阪行	淡路丸	一月十四日正午十二時
鎭南浦、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行	第一汐丸	一月七日後三時出
大連、大沽行	酒田丸	一月 日後一時出
大連行	新潟丸	一月十日後一時出
營口行	新潟丸	一月廿四日後一時出
大連、芝罘、秦皇島行	山東丸	一月十四日前九時出
鎭南浦、安東縣行	第一汐丸	一月 日後三時出
釜山出帆、元山行	弘前丸	一月二十九日

御注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船場棧橋ノ事

▲貨物本船積卸
▲龍山行其他近海運送
▲右の外艀に關する一般の事務

仁川港仲町二丁目

福島組（電話五三五番）

同 波戸場出張所（電話五四二番）

開店披露

弊店儀從來仁川に於て通關運送業罷在候處今般京城御得意樣各位の御勸誘に隨ひ南大門驛通りへ支店開設叮嚀確實且つ極めて迅速に取扱可申候間何卒倍舊御立の程伏て奉懇願候　敬白

仁川驛上

小宮山通關運送店

電話七一六番

京城南大門外

同支店